

レカロシート取付説明書

DA2022-2606001

メーカー	車種	年式	型式	部品番号
DAIHATSU	ATRAI/ HIJET CARGO	2021/12 ～	S700V・S710V S700W・S710W	2087.010.2/ 2087.011.1
TOYOTA	PIXIS VAN	2021/12 ～	S700M・S710M	
SUBARU	SAMBER VAN	2022/1 ～	S700B・S710B	

品質向上などのため、予告なしに一部の仕様を変更する場合があります。

レカロ株式会社

〒527-0066 滋賀県東近江市柴原南町 1570-1

レカロコール ☎ 0800-919-5881 受付時間 10:00 - 12:00 13:00 - 18:00

営業日 土日、祝日、弊社休業日を除く平日 ※IP 電話以外よりお掛けください。



はじめに

ご使用になる前に必ずお読みください

同梱のベースフレーム取付説明書、レカロシート取扱説明書 (シートご購入時付属品) を一緒にご覧ください。
販売店さまへ 本書は必ずお客様にお渡しください。

この度は、レカロ純正ベースフレームをお買い上げいただきありがとうございます。
本製品は、レカロ株式会社が日本国内のアフターマーケット向けに販売しているレカロシートの車種別専用取付部品となります。必ず本取付説明書をお読みいただき、本書記載の注意事項や取り付け方法に従い、正しくかつ安全に使用してください。
尚、レカロシートならびに本製品は、レカロ正規取扱販売店で取り付けを推奨しています。
誤った取り付け方法や使用方法での不具合などにつきましては、一切の責任および品質保証の義務を負いかねますのでご了承ください。また本製品は、実車をもとに採寸・設計しています。しかしながら車両の個体差や経年変化などにより車両フロア取り付け部分の寸法に差が生じる場合もあります。その際、本製品を加工・改造して取り付けることは大変危険ですので、絶対に行わないでください。
また、本製品に貼付されているラベルは、車検の際に必要な確認番号が記載されていますので、絶対に剥がさないでください。

作業前に準備しておくこと

必要工具などについて

- ◎基礎工具類 …………… スパナ、レンチ、六角レンチ、プライヤー、ペンチなど
- ◎本製品に必要となる特殊工具 …… スパナ : 24mm
- ◎配線処理部材 …………… 結束バンド、絶縁テープなど
- ◎保護具 …………… 作業時は、長袖や手袋などの保護具を着用してください
- ◎保護カバー …… シート脱着時に車両を傷つけないよう、毛布などでカバーしてください

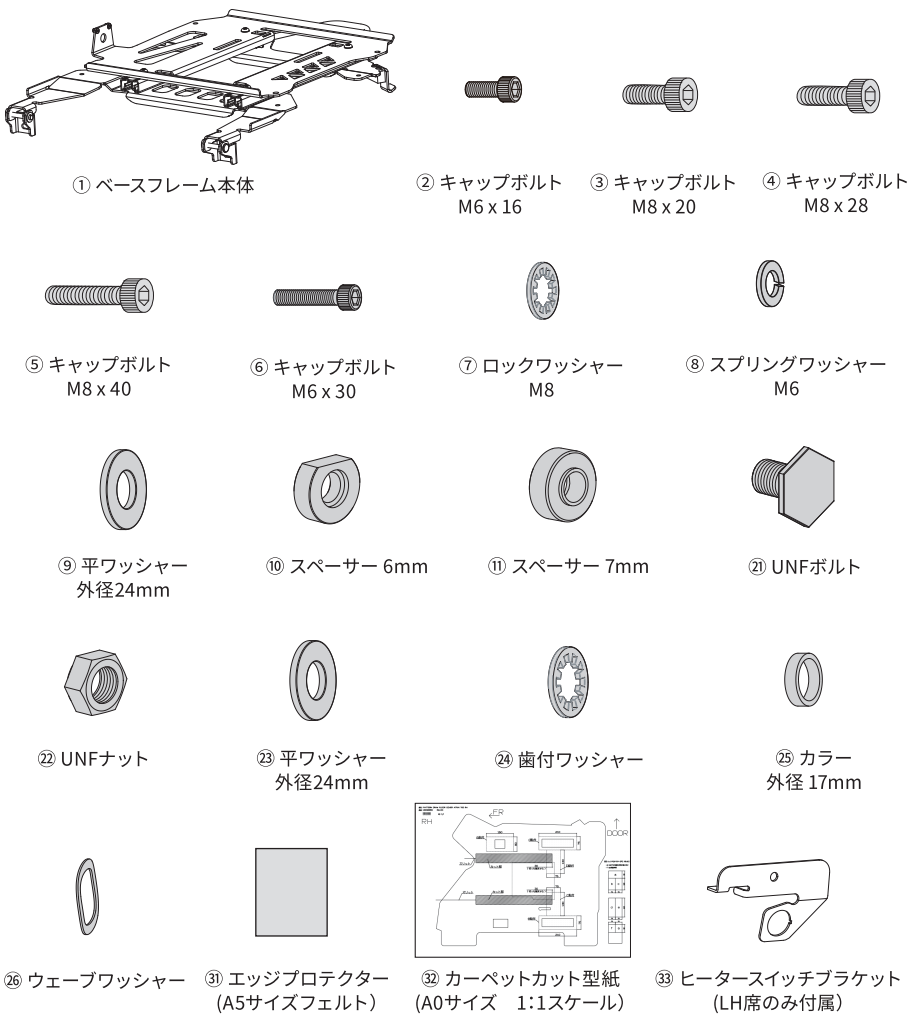
構成部品

ベースフレーム構成部品			数量	備考
①	ベースフレーム本体		1	-
②	キャップボルト	M6 x 16mm	3	※使用するボルトは、取り付けシートや使用スペーサー枚数によって異なります。
③	キャップボルト	M8 x 20mm	4	
④	キャップボルト	M8 x 28mm	4	
⑤	キャップボルト	M8 x 40mm	4	
⑥	キャップボルト	M6 x 30mm	6	
⑦	ロックワッシャー	M8	4	シート本体とベースフレーム本体の取り付けに使用
⑧	スプリングワッシャー	M6	6	シート本体とベースフレーム本体の取り付けに使用
⑨	平ワッシャー	外径24mm	4	ベースフレーム本体とエンジンルーム天板の取付に使用
⑩	スペーサー	6mm	6	シート本体とベースフレーム本体の取り付けに使用
⑪	スペーサー	7mm	8	シート本体とベースフレーム本体の取り付けに使用

シートベルトバックルアンカー取り付け用部品		数量	備考
⑫	UNFボルト	1	シートベルトバックルの取り付けに使用
⑬	UNFナット	1	
⑭	平ワッシャー	外径24mm	
⑮	歯付ワッシャー		
⑯	カラー	外径17mm	
⑰	ウェーブワッシャー	1	

その他の構成部品		数量	備考	
㉑	エッジプロテクター	210 x 150	3	ベースフレームエッジ部分の保護に使用
㉒	カーペットカット 型紙	A0 S:1/1	1	純正カーペットをベースフレーム形状に合わせてカットする為に使用
㉓	ヒータースイッチブラケット	2087.011.1のみ付属	1	対象のシート(本文手順6参照)を搭載する場合に使用

構成部品



作業手順

1

バッテリーのマイナス端子を外して放電させる

※すべての電気経路がリセットされますので、再設定が必要です。

※BMWやAUDIなど、一部の輸入車においてバッテリーの端子を外すことを推奨しない車両もございます。同梱の車種別取付説明書をご確認ください。

⚠ 禁止

濡れた手で作業しないでください。
感電の恐れがあります。

2

純正シートを固定しているボルトや配線を取り外す

⚠ 厳守

作業にあった工具をご使用ください。
間違った工具や粗悪な工具を使用すると正しく組みつけができず、部品の破損や思わぬけがの原因となります。

作業時は、長袖や手袋などの保護具をご使用ください。
素肌が露出した状態で作業すると、金属部分のエッジなどと接触し、けがをする恐れがあります。

3

純正シートを車外に取り出す

⚠ 厳守

作業時は車両を傷つけないよう保護カバーをご使用ください。
レカロシートの取り付けが完了するまで保護カバーをつけたままにしておいてください。

4

純正シートからシートベルトバックルを取り外す

シートベルトバックルにつながっている配線も取り外します。

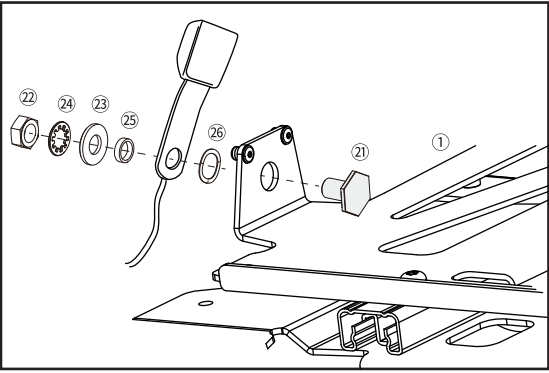
⚠ 厳守

作業にあった正しい工具をご使用ください。
間違った工具や粗悪な工具を使用すると正しく組みつけができず、部品の破損や思わぬけがの原因となります。

5

シートベルトバックルをベースフレーム本体に取り付ける

取り外したシートベルトバックルを、付属部品を使用してベースフレーム本体①のアンカーブラケットに取り付けます。



締め付けトルク：
UNF 7/16 44±4Nm

⚠ 厳守

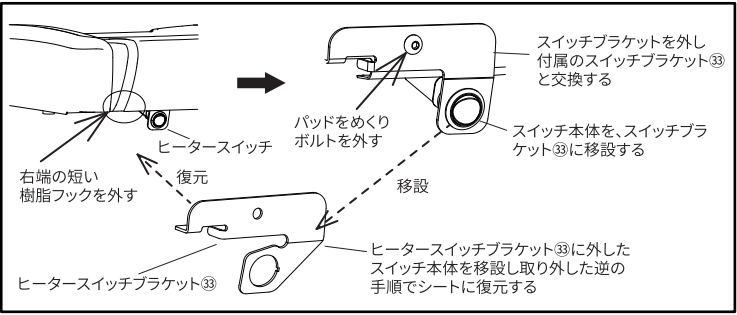
記載の締め付けトルクで締め付けてください。
適正なトルクで締め付けができていないと、ボルトの破断や緩みが発生し、重大な事故の原因となります。

6

レカロシートヒータースイッチの移設

(※ SR-7,7F,先代LX-Fでシートヒーター仕様を左席に搭載する場合のみ作業。これ以外のシートは手順7へ)

下図を参照し、ヒータースイッチを移設します。復元時に使用する、新品の結束バンドを、ご準備ください。



7

純正フロアカーペットを、ベースフレームの形状に合わせてカットする

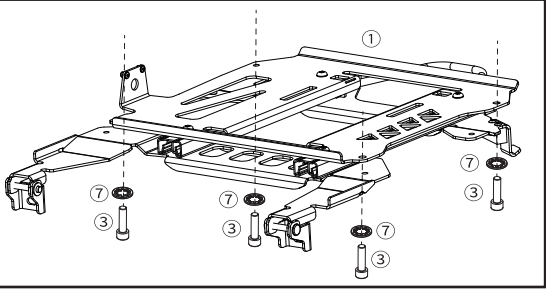
付属のカーペットカット型紙③に、純正フロアカーペットを重ね、カーペットを図の通りカットする。エッジプロテクター③を図の指示に従いa～gの形状にカットして、a～eをカーペットに貼り付け、f、gを手順9でエンジンルーム天板に貼り付ける。

8

ベースフレーム本体をシートに固定する

ベースフレーム取扱説明書「ベースフレームとシートの組み付け方」をご参照ください。

締め付けトルク M8 24±2Nm



⚠ 厳守

記載の締め付けトルクで締め付けてください。
適正なトルクで締め付けができていないと、ボルトの破断や緩みが発生し、重大な事故の原因となります。

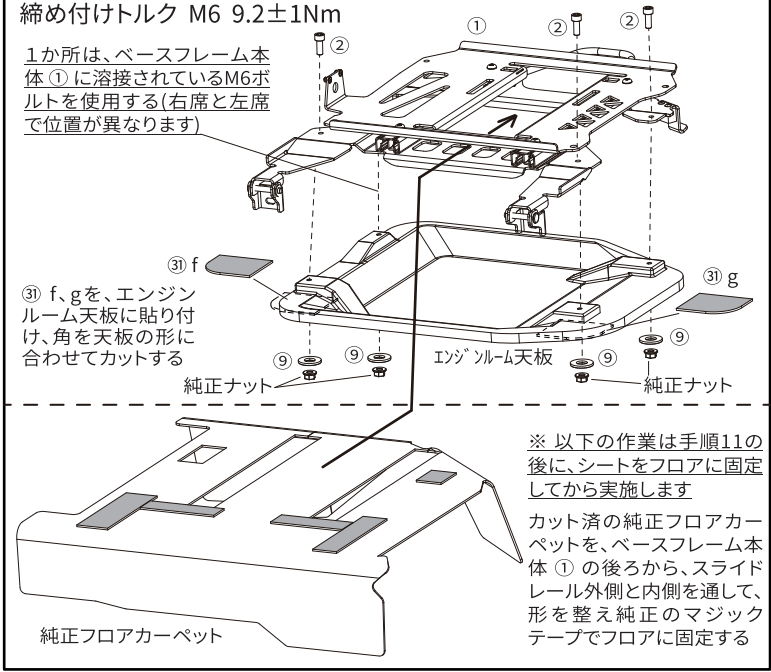
9

ベースフレーム本体とエンジンルーム天板を固定する

※手順7でカットした純正フロアカーペットをセットします

締め付けトルク M6 9.2±1Nm

1か所は、ベースフレーム本体①に溶接されているM6ボルトを使用する(右席と左席で位置が異なります)



③ f、gを、エンジンルーム天板に貼り付け、角を天板の形に合わせてカットする

純正ナット

エンジンルーム天板

純正ナット

純正フロアカーペット

※ 以下の作業は手順11の後に、シートをフロアに固定してから実施します

カット済の純正フロアカーペットを、ベースフレーム本体①の後ろから、スライドレール外側と内側を通して、形を整え純正のマジックテープでフロアに固定する

10

シートを車内に入れ、シートベルトバックルの配線をつなぐ

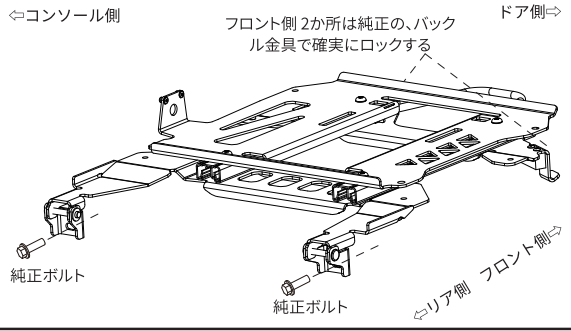
※レールに配線が噛みこまないよう、結束バンドなどで束ね、固定してください。

⚠ 注意

配線がむき出しのエッジ部で損傷し火災や事故の原因となります。
付属のエッジプロテクターで保護してください。

11

シートをフロアに固定する



リア側は、フロアに純正ボルトで固定してください。
車の整備書を参照し、適正な締め付けトルク値を確認し締め付けてください。フロント側は、純正バックル金具で、確実にロックしてください
※フロアカーペットを挟み込まないように注意してください。

12

エッジプロテクターを貼る

余りのエッジプロテクター③で、ベースフレームのエッジ部、カーペットの隙間を隠すように貼り付けてください。

⚠ 厳守

レールを前後端までスライドさせ、手順10でつないだ各種配線につっぱりや緩み、噛みこみが無いことを確認してください。
正しく取り付けできていないと、ハーネスが断線し火災や思わぬ事故の原因となります。再調整の際も同様に確認をしてください。

適正な締め付けトルクで締め付けてください。
適正なトルクで締め付けができていないと、ボルトの破断や緩みが発生し、重大な事故の原因となります。

13

バッテリーのマイナス端子を接続する

イグニションスイッチをONにし、エアバッグ警告灯が消灯し、シートベルトのリマインダーが正常に作動することを確認してください。

⚠ 注意

むき出しのエッジ部にぶつかると思わぬ怪我につながる恐れがあります。
付属のエッジプロテクターでエッジ部を保護してください。

14

バッテリーのマイナス端子を接続する

イグニションスイッチをONにし、エアバッグ警告灯が消灯し、シートベルトのリマインダーが正常に作動することを確認してください。